

100周年記念基金学術振興助成の申し合わせ

大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰および特別学術振興活動への助成に関しては、下記のように取り扱う。

1. 大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰に関する発表賞の配分について

1) 賞 A の配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞 A の研究会等へ配分を求めると、毎年過去 1 年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は 3 年間は固定し、3 年毎に過去 3 年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表 1-1 のように各部門研究会ならびに部門大会に賞 A を配分することとする。

2) 賞 B の配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞 B の研究会等(*)へ配分を求めると、毎年過去 1 年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は 3 年間は固定し、3 年毎に過去 3 年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表 1-2 のように全国大会ならびに支部大会に賞 B を配分することとする。

2. 特別学術振興活動への助成

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」第 2 条 (4) に定める特別学術振興活動への助成金の年約 300 万円については、各部門へ優先的に約 250 万円 (50 万円×5 部門[準部門支援の考えで E 準部門も含める]) を充当するものとする。

(改廃等)

1. 平成 12 年 4 月 7 日、調査会議において一部改正。
2. 平成 13 年 6 月 28 日、調査会議において一部改正。

下の「注」は、平成 12 年 10 月 11 日、事業サービス課にて追記しました。

注：(*) を付記した 1-2) の研究会等は、正しくは「全国大会、支部大会等」です。

○表 1-1 賞Aの算出結果

	発表論文数				配分数 H16 - 18
	平成13年	平成14年	平成15年	平均 (H13-15)	
A部門研究会	1,064	990	1,084	1,046	17
B部門研究会	817	771	919	836	14
C部門研究会	517	493	469	493	8
D部門研究会	817	809	817	814	13
E準部門研究会	99	140	125	121	2
東京支部連合研究会	86	87	82	85	3
研究会合計 (1)	3,400	3,290	3,496	3,395	57
A部門大会	209	227	195	210	4
B部門大会	470	480	373	441	7
C部門大会	367	291	279	312	5
D部門大会	497	525	510	511	8
部門大会合計 (2)	1,543	1,523	1,357	1,474	24
(1) + (2)	4,943	4,813	4,853	4,869	81

○表 1-2 賞Bの算出結果

	発表論文数				配分数 H16 - 18
	平成13年	平成14年	平成15年	平均 (H13-15)	
全国大会	1,764	1,630	1,538	1,644	40
北海道支部連合大会	353	334	300	329	7
東北支部連合大会	310	347	397	351	7
東海支部連合大会	822	680	715	739	16
北陸支部連合大会	488	401	400	430	9
関西支部連合大会	402	472	432	435	9
中国支部連合大会	414	458	465	446	9
四国支部連合大会	331	353	364	349	7
九州支部連合大会	829	678	621	709	15
支部大会合計	3,949	3,723	3,694	3,788	79